

DMG森精機株式会社

2022年度上半期(1-6月)決算説明資料

2022年8月4日

1. 2022年度上半期(1-6月)決算概要

2. 事業環境

3. 重点施策

- ① グローバルで商談会回復
- ② 工程集約、自動化、DX化促進：NTX 500開発、WALC設立(将来技術探索)
- ③ 欧州受注拡大への対応強化：物流改革、内製強化

4. ESG / CSR進捗

- ① 人材投資：賃金のグローバル化促進~国内従業員の給与改定
- ② 健康経営の推進：有給休暇取得推進、平均労働時間を適正化
- ③ 太陽光による自家発電を拡充

2022年度上半期(1-6月) 決算ハイライト

DMG MORI

- ✓ 上半期（1-6月） 連結受注 2,993億円（前年同期比37%増）
第2四半期（4-6月） 連結受注 1,492億円（前年同期比28%増）

- ✓ 機械本体の受注残高 2,440億円(6月末)へ増加（2021年12月末 1,640億円）

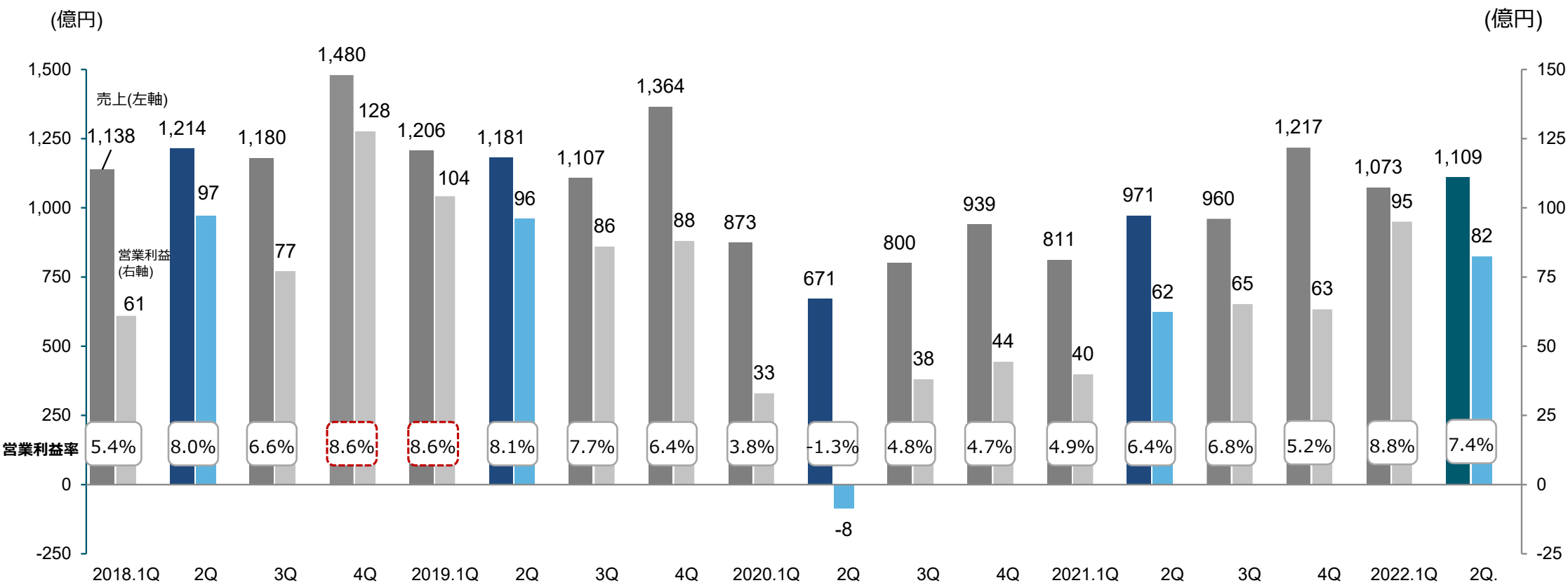
- ✓ 受注単価49.6百万円(2021年度平均: 39.4百万円) 工程集約、自動化、DX化、及び円安が寄与

(億円)	2019年 1-6月	2020年 1-6月	2021年 1-6月	2022年 1-6月	増減 (%)
連結受注	2,234	1,355	2,184	2,993	+37
連結受注残	1,920	1,240	1,420	2,440	
売上収益	2,386	1,543	1,782	2,182	+22
営業利益	200	24	102	177	+73
営業利益率	8.4%	1.6%	5.7%	8.1%	
当期利益	107	-22	61	113	+85
1株当たり中間配当金（円）	30	10	10	30	
償却費(リース含む)	108	116	109	116	
設備投資額	84	70	76	191	
USD/JPY	110.1	108.3	107.7	122.9	
EUR/JPY	124.3	119.3	129.8	134.3	

四半期業績推移

DMG MORI

- 第2四半期も工程集約、自動化、DX化による粗利益率の改善持続
- 第2四半期は物流コスト増でEBIT率低下も、運賃の価格への反映により、下半期のEBIT率は10%以上見込み



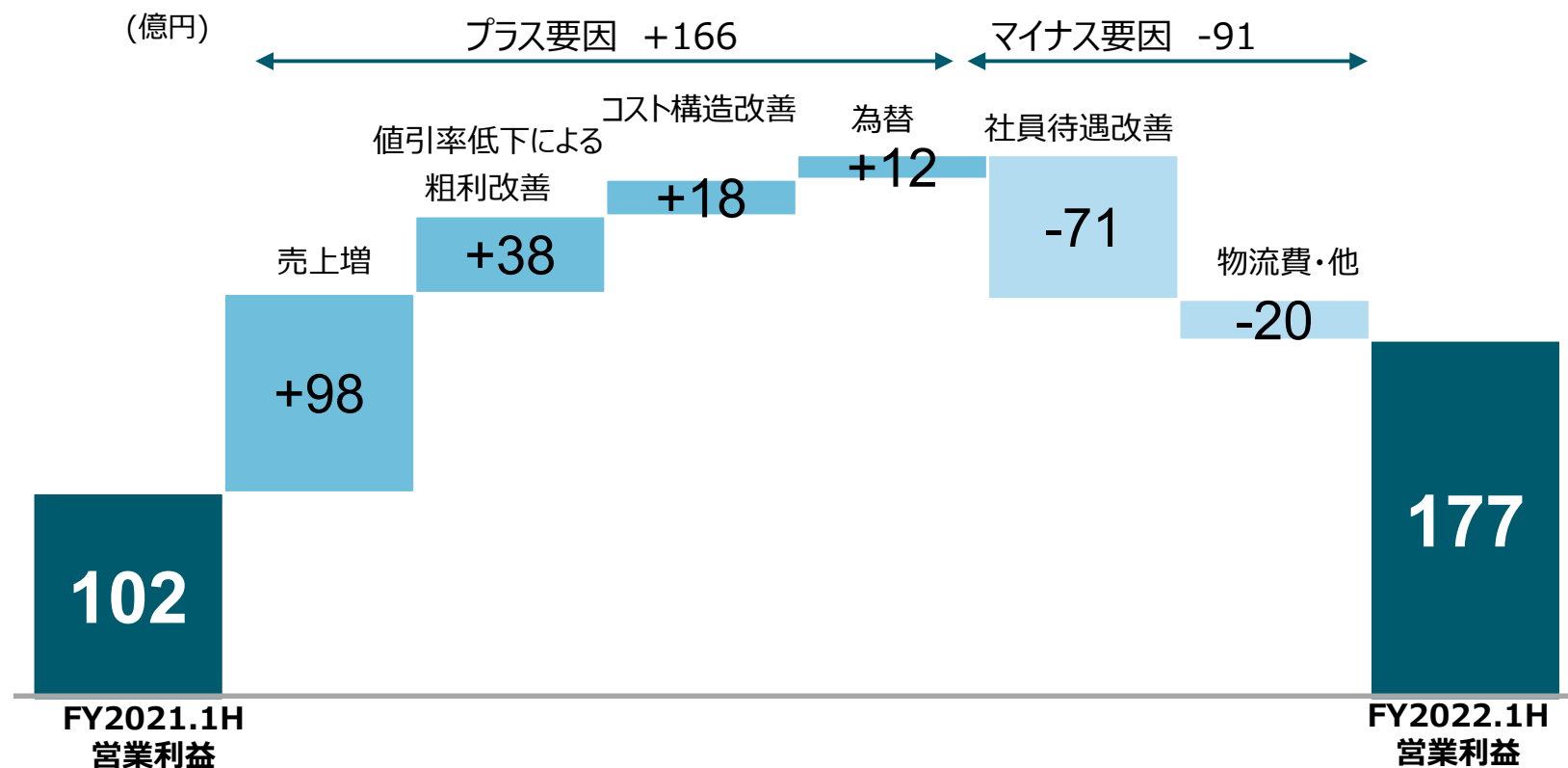
営業利益増減分析 2021年度上半期 vs 2022年度上半期

DMG MORI

- ・ 廉価販売、短納期からの決別で販売粗利率の改善寄与
- ・ 年初から実施した分社化による生産性改善は計画通り進捗。物流費などのコスト増を相殺

(億円)	FY2021.1H	FY2022.1H	増減
売上収益	1,782	2,182	+400

為替レート:	USD/円	FY2021.1H	FY2022.1H
	EUR/円	107.7	122.9
		129.8	134.3

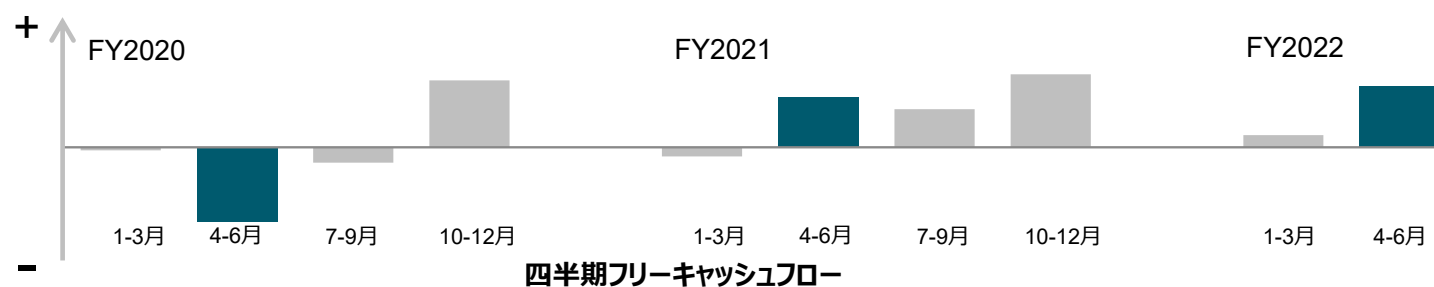


キャッシュ・フロー

DMG MORI

- ・ 上期フリーキャッシュフローは145億円の大幅黒字確保、利益増及び前受金の増加による運転資本改善が寄与
- ・ 年度フリーキャッシュフロー300億円見込み

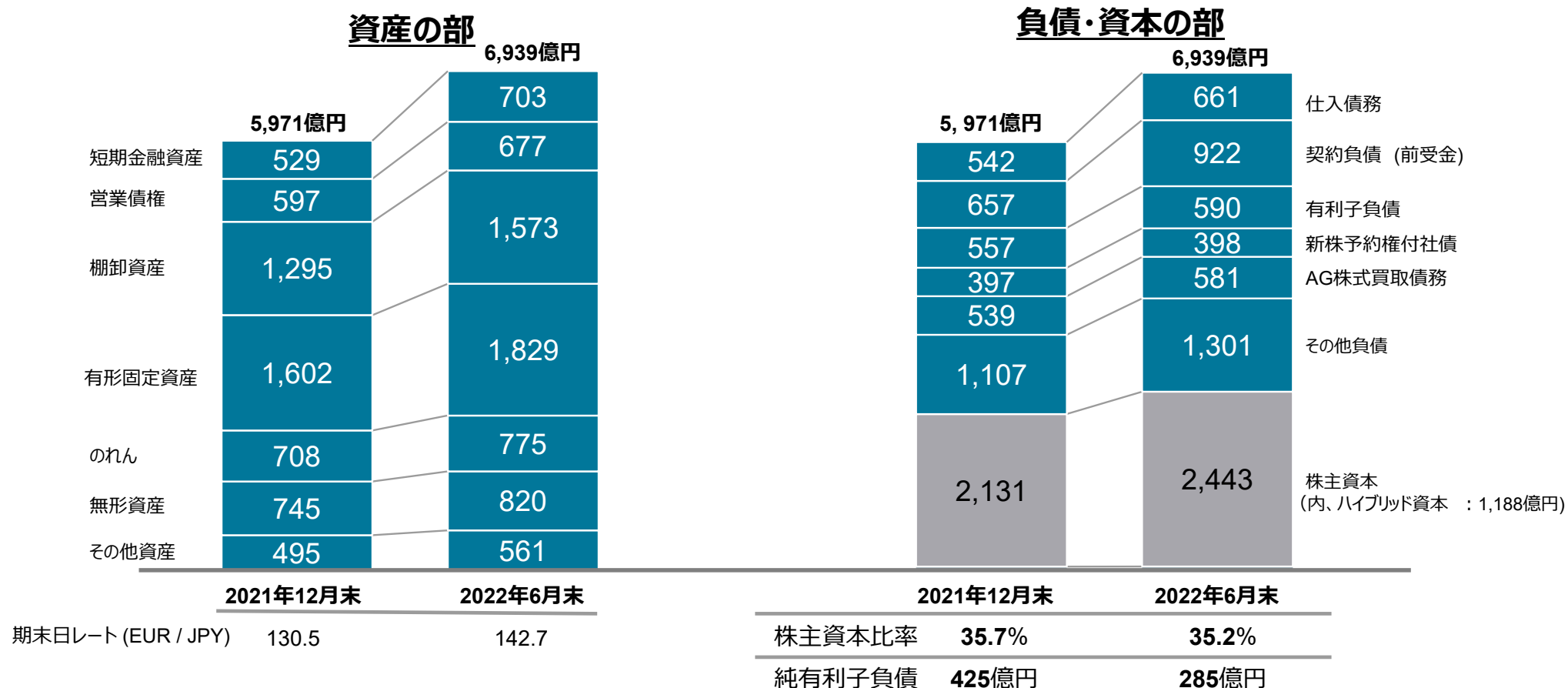
(億円)	2020					2021					2022			
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q		FY (計画)
営業キャッシュフロー	25	-109	-5	226	136	26	134	106	231	497	125	236		650
税引前四半期利益	13	-18	28	28	51	31	54	56	55	196	89	74		
償却費	59	57	58	67	241	55	54	53	57	219	56	60		
運転資本増減	44	-106	-54	140	22	-35	53	23	118	159	-18	99		
その他	-90	-42	-37	-9	-178	-25	-27	-27	2	-77	-2	4		
投資キャッシュフロー	-31	-39	-25	-93	-189	-45	-34	-30	-85	-194	-101	-115		-350
(うち有形・無形資産取得支出)	-29	-41	-35	-96	-201	-44	-31	-57	-100	-233	-102	-89		
フリーキャッシュフロー	-6	-149	-31	133	-52	-18	100	76	146	304	24	121		300



貸借対照表サマリー

DMG MORI

- 円安による外貨建て資産の換算により、総資産450億円増加
- 純有利子負債残高は285億円と、2021年12月末より140億円減少。Net D/Eレシオは0.12へ低下



6月末 Net D/Eレシオ **0.12** (2021年12月末 0.20)

2022年12月期 通期業績予想

DMG MORI

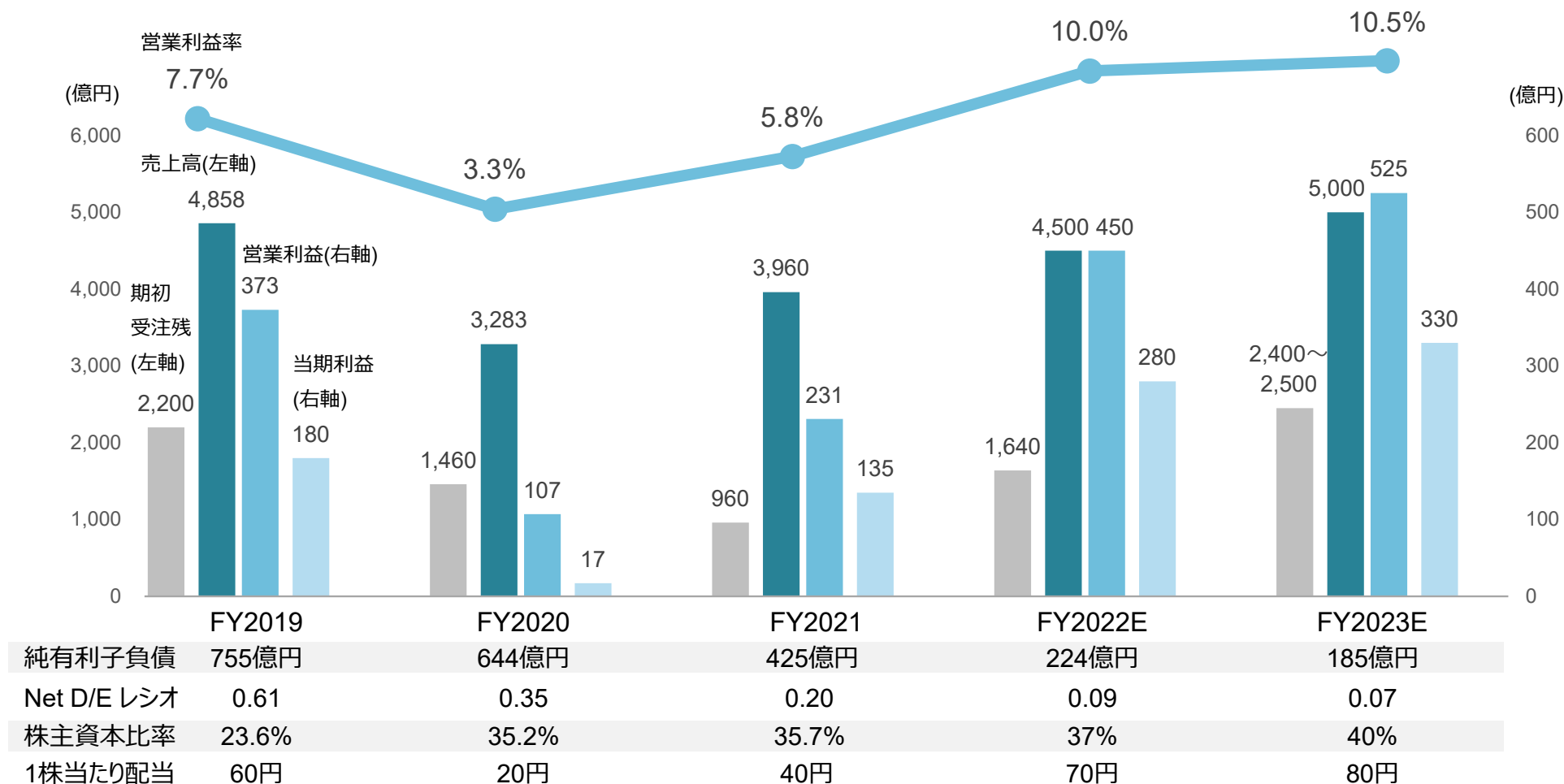
- 年度連結受注を再度増額修正 5,300億円以上（従来予想：5,000億円+α）
- 年度営業利益率10%見込み

(億円)	2019年 実績	2020年 実績	2021年 実績	2022年		
				計画	YoY (%)	従来予想
連結受注	4,094	2,797	4,560	5,300以上	+16%以上	5,000+α
売上収益	4,858	3,283	3,960	4,500	+13.6%	4,500
営業利益	373	107	231	450	+95.1%	450
営業利益率	7.7%	3.3%	5.8%	10.0%		10.0%
当期利益	180	17	135	280	2.1倍	280
1株当たり当期利益 (円)	138.64	3.40	91.75	209.80		209.80
配当金 (円/株)	60	20	40	70 (中間:30円, 期末:40円)		70
償却費(リース含む) 設備投資額	231	241	219	240		230
	212	201	233	350		230
USD/JPY	109.1	106.8	109.8	120		120
EUR/JPY	122.1	121.8	129.9	135		135

2023年12月期目標

DMG MORI

- オペレータ不足・技能者の賃金上昇等が、工程集約、自動化、DX化の需要を加速。受注は堅調に推移する見込み
- 今年度末の豊富な受注残見込み(2,400~2,500億円)から来期も増収増益見込み。廉価、短納期からの決別により利益率改善



1. 2022年度上半期(1-6月)決算概要

2. 事業環境

3. 重点施策

- ① グローバルで商談会回復
- ② 工程集約、自動化、DX化促進：NTX 500開発、WALC設立(将来技術探索)
- ③ 欧州受注拡大への対応強化：物流改革、内製強化

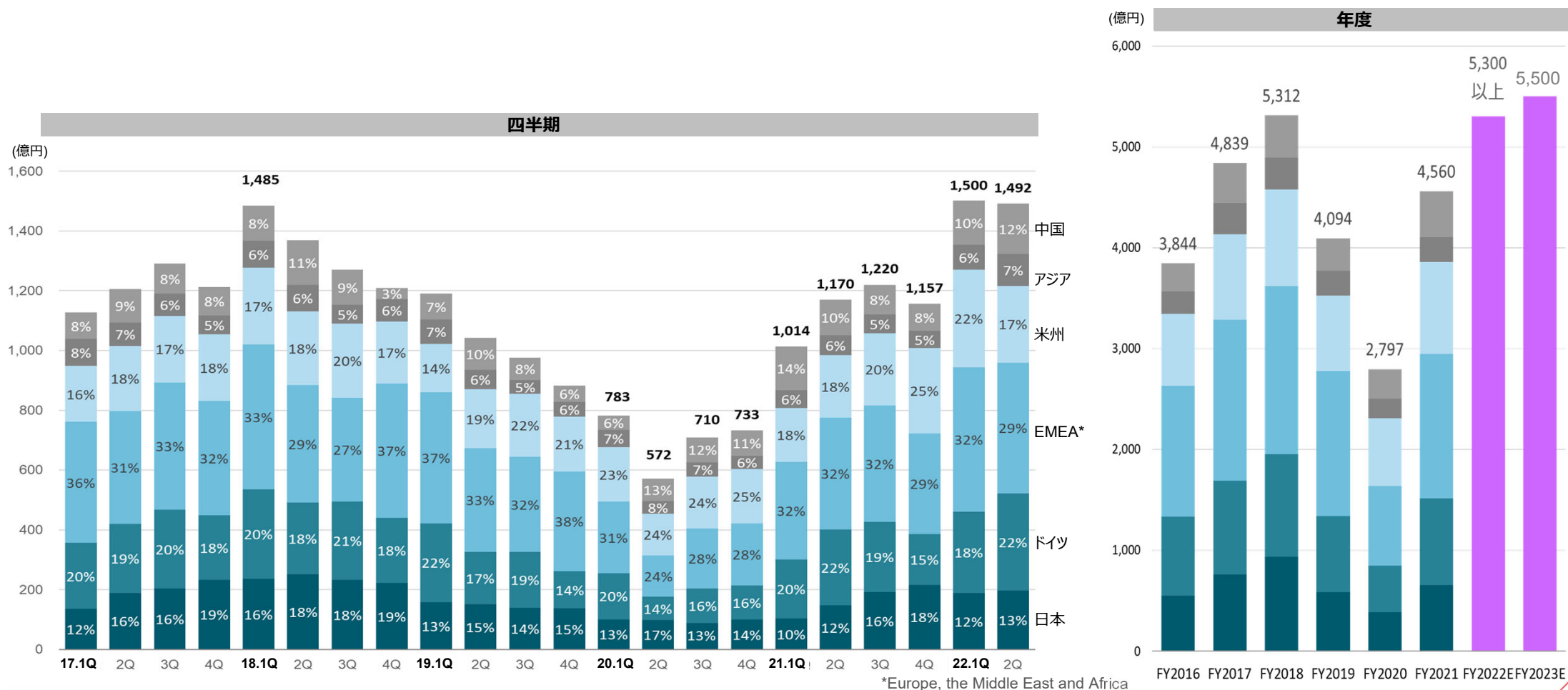
4. ESG / CSR進捗

- ① 人材投資：賃金のグローバル化促進~国内従業員の給与改定
- ② 健康経営の推進：有給休暇取得推進、平均労働時間を適正化
- ③ 太陽光による自家発電を拡充

連結受注推移

DMG MORI

- 第2四半期受注も第1四半期のピーク水準並み確保。受注単価の上昇が大きく寄与
- 今年度受注見通しを従来の5,000億円+αから5,300億円以上へ増額。受注回復モメンタム継続

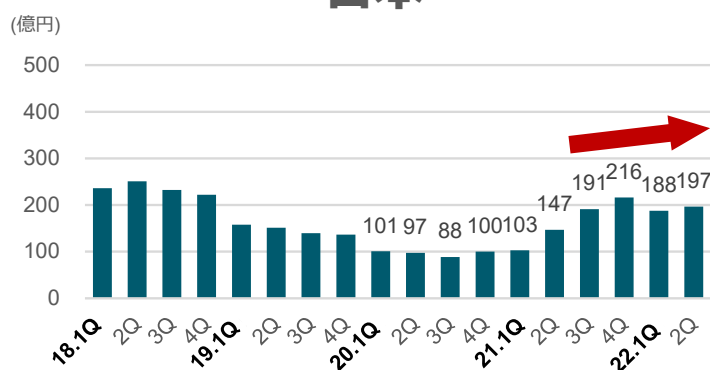


地域別受注推移

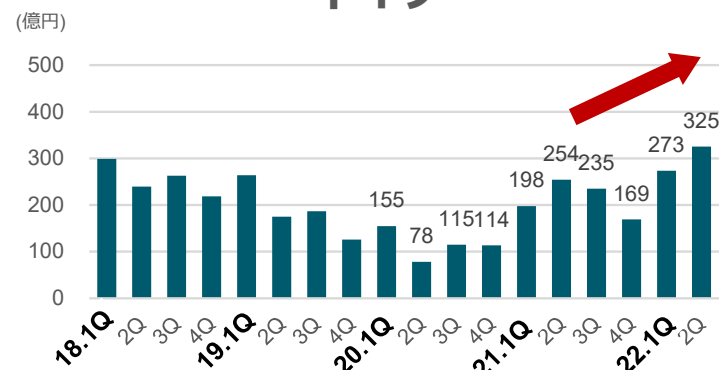
DMG MORI

- ・ ドイツ、中国、アジアの伸び大
- ・ 日本、米州、EMEAも堅調

日本

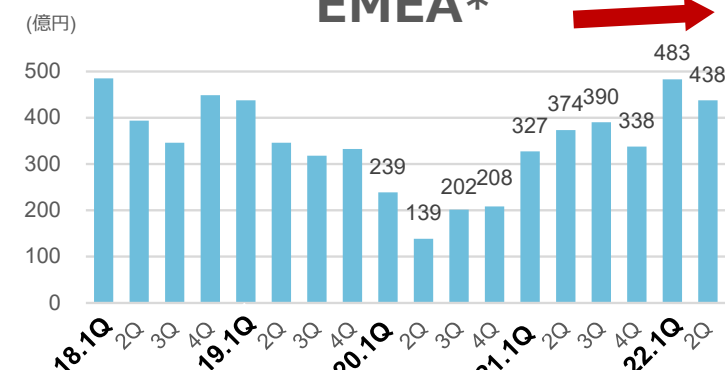


ドイツ

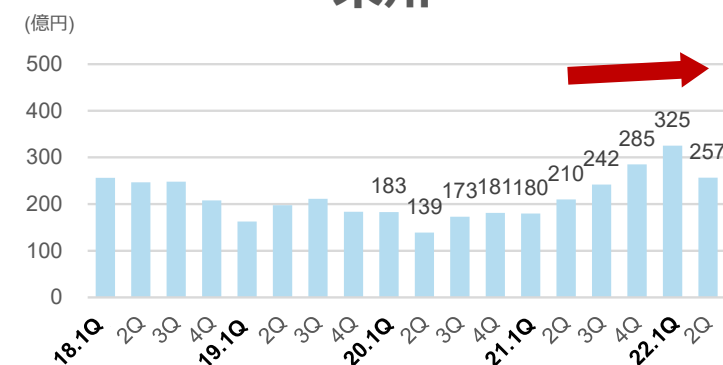


EMEA*

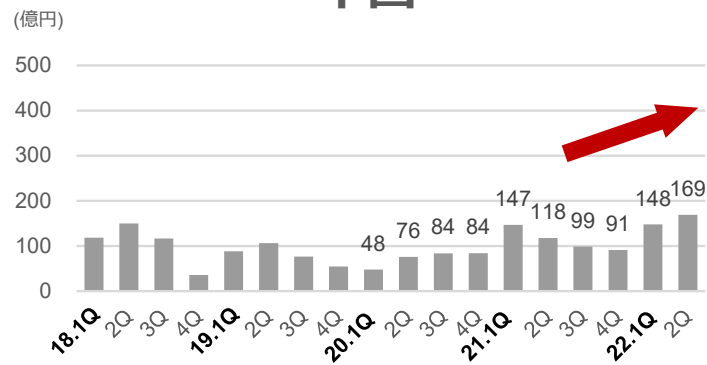
*Europe, the Middle East and Africa



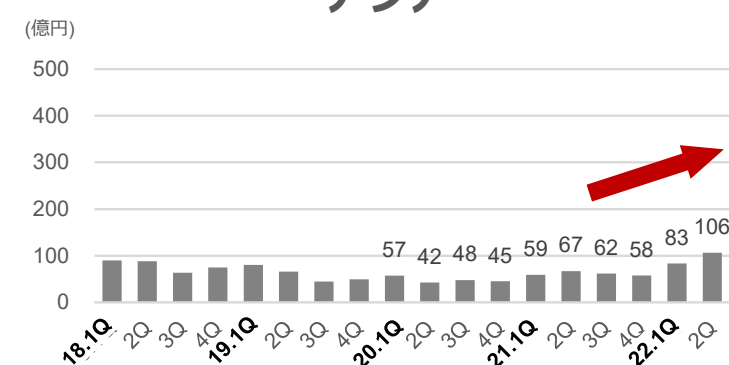
米州



中国



アジア



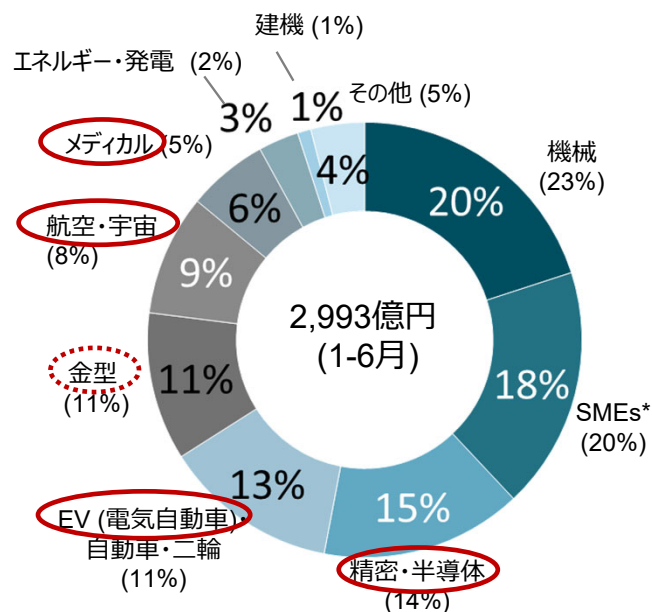
連結受注構成 (1-6月)

DMG MORI

- ・ ほぼ全産業回復基調に変化なし。医療、航空・宇宙、EV関連、半導体装置向けが絶好調
- ・ 引続き中堅規模、大規模ユーザーの受注堅調

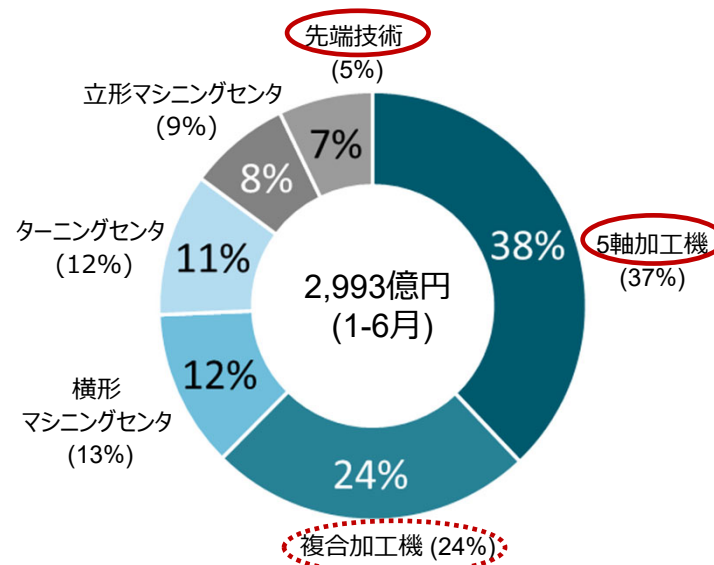
※金額ベース
※カッコ内：2021年1-12月

業種別

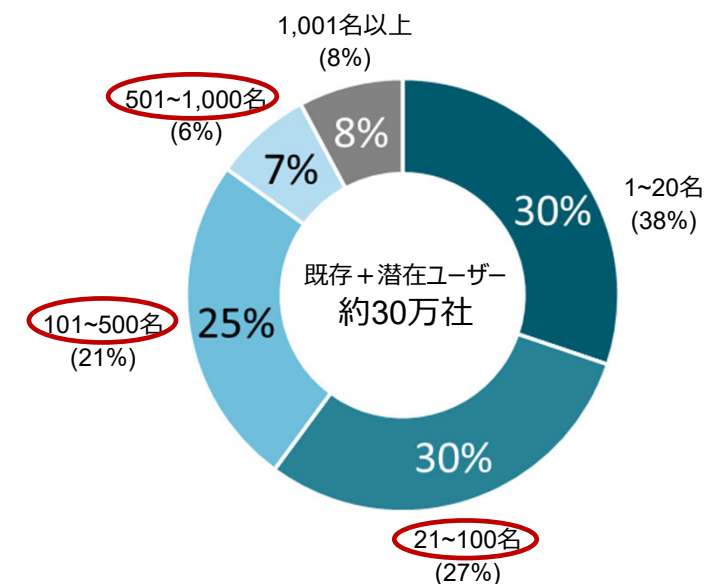


*Small and medium-sized enterprises

機種別



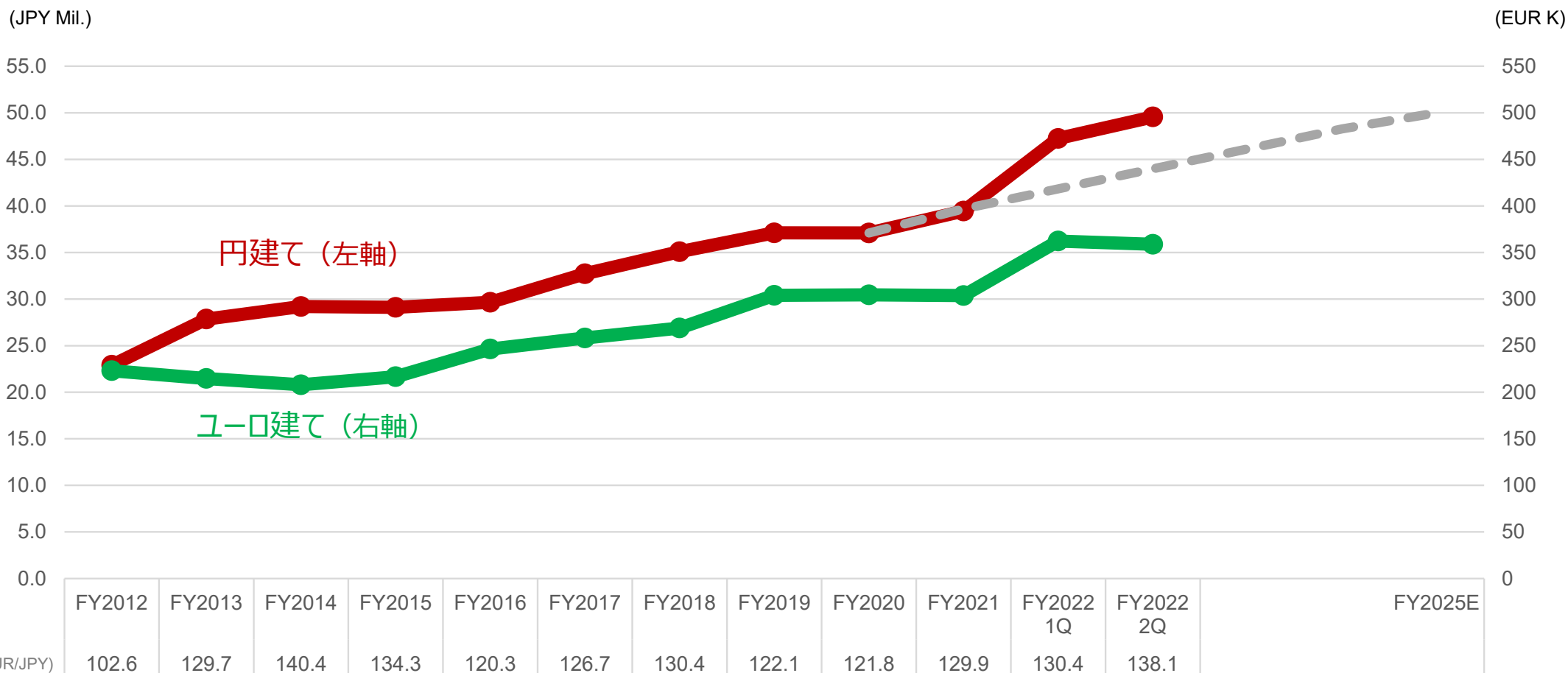
規模別



1台あたりの機械受注単価推移

DMG MORI

- 受注単価 49.6百万円 へ大きく伸長(2021年実績：39.4百万円)
- 工程集約、自動化、DX化、大型プロジェクト、値上げ浸透、及び円安が寄与



1. 2022年度上半期(1-6月)決算概要

2. 事業環境

3. 重点施策

① グローバルで商談会回復

② 工程集約、自動化、DX化促進：NTX 500開発、WALC設立(将来技術探索)

③ 欧州受注拡大への対応強化：物流改革、内製強化

4. ESG / CSR進捗

① 人材投資：賃金のグローバル化促進～国内従業員の給与改定

② 健康経営の推進：有給休暇取得推進、平均労働時間を適正化

③ 太陽光による自家発電を拡充

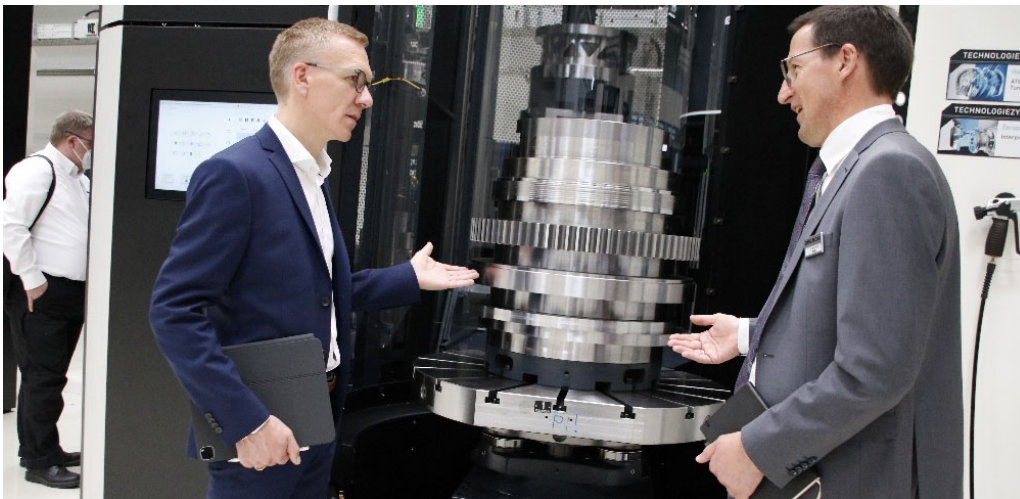
オープンハウス・展示会・イベントスケジュール

DMG MORI

	Apr	May	Jun	Jul	Aug	Sep	Oct	Nov	Dec
オープンハウス	テクノロジーフライデー／テクノロジーツアー								
展示会		フロンテン OH 5/9-21 ドイツ	ビーレフェルト OH 6/21-24 ドイツ			シカゴ OH 9/11-14 アメリカ		東京OH with JIMTOF	
イベント			ROBOT TECHNOLOGY JAPAN 2022 6/30-7/2 愛知			AMB 9/13-17 ドイツ		The 31st JAPAN INTERNATIONAL MACHINE TOOL FAIR JIMTOF 2022 11/8-11/13 東京	
					奈良 PDC 開所式		第17回切削加工 ドリームコンテスト 11/8		

ドイツ フロンテン オープンハウス (5/9-5/13, 5/16-5/21)

DMG MORI



ドイツ ビーレフェルト オープンハウス (6/21-6/24)

DMG MORI

June 21 - 24, 2022
Tue. - Fri.: 09:00 a.m. - 05:00 p.m.

OPEN HOUSE BIELEFELD 2022

DMG MORI

*We look
forward to
your visit!*



TURN & MILL
COMPETENCE



AUTOMATION



GEAR AND
GRINDING



ADDITIVE
MANUFACTURING



Robot Technology Japan 2022 (6/30-7/2)

DMG MORI

会場 Aichi Sky Expo (愛知県国際展示場)
ハイライト 工程集約 / 自動化 / DX化 / 加工3悪解決 / SDGs・サステナビリティ
出展 MATRIS Light、WH-AMR 5、CTS、TULIP
機械本機の出展なし



WH-AMR 5 人との共存：衝突回避・迂回

NTX 500

DMG MORI

✔ 小型の複雑形状ワーク加工を1台で加工、省スペースな複合加工機NTX 500を開発



小型高品位ワーク



医療向け
ボーンプレート



輸送機器向け
インジェクションノズル

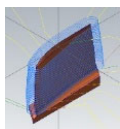


ライフスタイル
時計ケース

✓ 1本のソフトウェアで ポストプロセッサ / NCシミュレーション / 切削負荷最適化 機能を使用可能

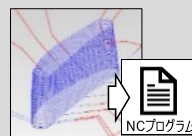
CAD/CAM

- 3次元デジタル図面
- ツールパス (tool paths) 作成



ポストプロセッサ

ツールパスをNCプログラムに変換



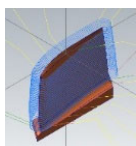
機械

加工



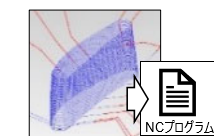
CAD/CAM

- 3次元デジタル図面
- ツールパス作成

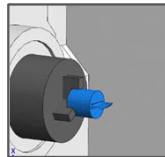


CELOS DYNAMICpost

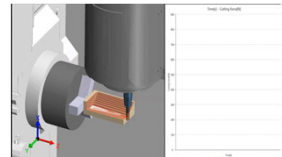
ポストプロセッサ



NCシミュレーション



切削負荷最適化



機械

加工



「工程設計アドバイザー（割出し5軸編）」販売開始

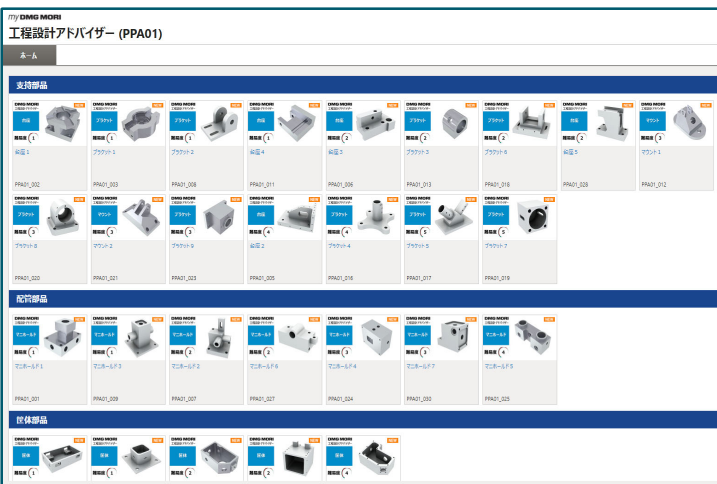
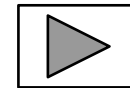
DMG MORI

eラーニングサービス
工程設計アドバイザー 割出し5軸編

100種類のワーク加工事例

クランプ方法から加工工程までを5分の動画で解説

TECHNIUM



✔ 将来技術探索の拠点、ソフトウェアサービス提供の新会社 WALCを設立

walc (ウォルク)

設立 2022年4月1日

社員数 15名、インターンシップ 8名

所在地 東京 渋谷

Webサイト <https://walc.co.jp/>

研究開発内容

- **BR Controller** : 自動運転・高精度把持コントローラー
- **WALC CARE** : ヘルスモニタリングサービス
(工作機械の予兆保全)
- **WALC VISION** : ディープラーニングによる画像診断技術
- **WALC EYE** : 人間による目視作業を代替
- **WALC COMPREHEND**
: 人間の言葉を理解するチャットボット技術



ドイツ フロンテン 最新鋭の物流センター完成

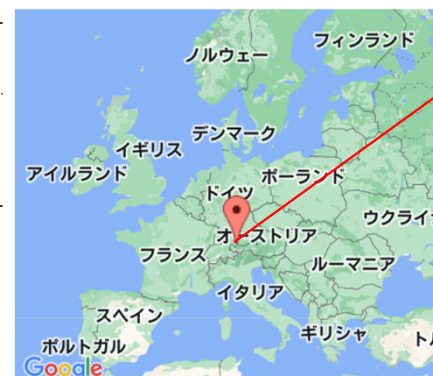
DMG MORI

✔ 自動化、デジタル化された物流センターにより物流費削減と部材供給リードタイム大幅短縮

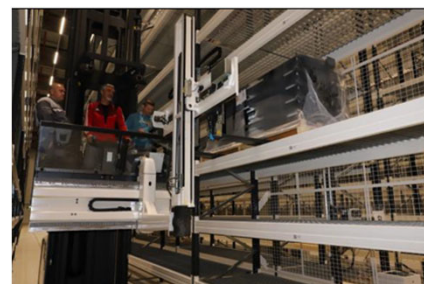
フロンテン工場（ドイツ）

敷地面積 約 140,000㎡ / 従業員 1,055名（2022年7月時点）

生産機種
• DMU/DMCシリーズ他の組立
（年産1,500台超）



ドイツ南部に位置するフロンテン工場



ポーランド生産拠点ファモット 加工能力増強

DMG MORI

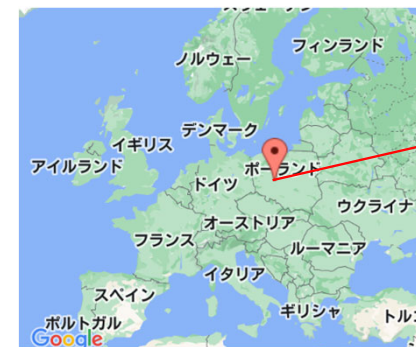
☑ DMC 210 Uを2台新規導入し、鋳物加工能力を増強。内製強化

FAMOT Pleszew Sp. z o.o. (ポーランド)

敷地面積 約 204,000㎡ / 従業員 764名 (2022年7月時点)

生産機種他

- CMX/CLXシリーズ他組立(年産1,500台)
- 鋳物の生産・加工



新規設置された2台のDMC 210 U



1. 2022年度上半期(1-6月)決算概要

2. 事業環境

3. 重点施策

- ① グローバルで商談会回復
- ② 工程集約、自動化、DX化促進：NTX 500開発、WALC設立(将来技術探索)
- ③ 欧州受注拡大への対応強化：物流改革、内製強化

4. **ESG / CSR進捗**

- ① **人材投資：賃金のグローバル化促進~国内従業員の給与改定**
- ② **健康経営の推進：有給休暇取得推進、平均労働時間を適正化**
- ③ **太陽光による自家発電を拡充**

 DMG森精機日本、国際的標準かつ建設的な給与改定を実施

新卒初任給の改定（2023年4月入社）

卒業・学位	標準年齢	初任給	初任年収
博士	27歳	475,000円*1	6,825,000円*2
修士	24歳	310,000円	4,650,000円
大学(学部卒) 高等専門学校専科	22歳	300,000円	4,000,000円
高等専門学校本科 短期大学	20歳	290,000円	3,700,000円
高等学校	18歳	280,000円	3,500,000円

*1 資格給5万円、技能給10万円含む

*2 技能給120万円含む

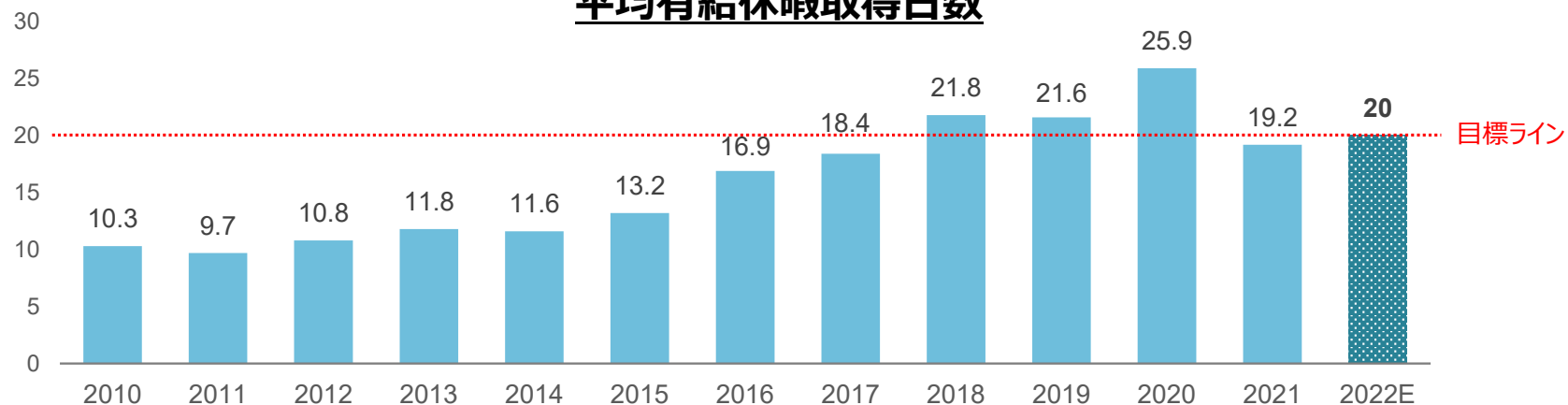
人材への投資（２）：健康経営の推進

✓ 従業員が健康に働き続けられる環境を整備



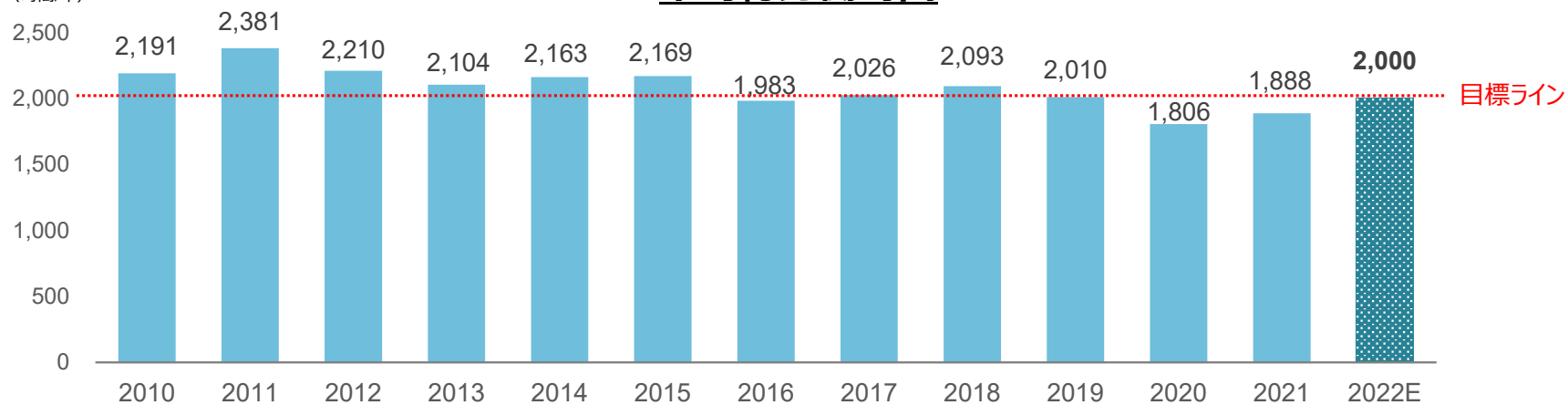
(日/1人当たり)

平均有給休暇取得日数



(時間/年)

平均総労働時間



太陽光による自家発電を拡充

☑ CO₂フリー電力の買電から太陽光自家発電へ、グローバル主要拠点で順次置換え



2015 2021 2023~ 2030

太陽光発電の導入
(ドイツ ビーレフェルト他)



全世界でカーボンニュートラル達成
(Scope 1, 2 Scope 3上流カテゴリ)



伊賀、奈良事業所で大規模太陽光発電開始
▶ 電力消費量の最大50%をカバー



SBT*認定 2030年までのCO₂削減目標 (基準 : 2019年実績)

Scope 1と2

46.2%削減

Scope 3

13.5%削減

*Science Based Targetsの略

当資料には、当社の目標、計画などの将来に関する記述が含まれております。

これらの将来に関する記述は、

当社が現在入手している情報に基づく判断および仮定に基づいております。

今後の経営方針転換、外部要因の変化により、将来的に実際の業績と大きく異なる可能性があります。

なお、不確定性および変動可能性を有する要素は多数あり、以下のようなものが含まれます。

- 当グループが営業活動を行っている市場内における需要環境の変化
- 為替相場の変動
- 当グループが営業活動を行っている市場内における法律、規制及び政府政策の変更
- タイムリーに新商品を開発し、市場に受け入れられるようにする当社の能力
- 当グループが営業活動を行っている市場内における政治的な不安定さ
- 独禁法や輸出管理規制等関連する法規制又はその所轄当局による運用の変更
- COVID－19に関する日本国及び諸外国の渡航又は自宅待機規制の動向